



美杉中学校だより

みんなが幸せになれる学校
すすんで学び行動しよう
がんばらあっぱしない

第 8 号

令和 7年10月1日発行

美杉中学校長

北川 健太郎

上達を実感すること ～合唱・太鼓の活動を通して～

文化祭、みすぎ秋まつりに向けた取り組みを進めています。合唱については、全体音楽の時間を設け、3学年合同で「手紙」「あなたへ」の練習をしています。合唱は中学校になると、3パートほどに分かれるのが一般的で、パート練習を積み重ね、全体合唱ですばらしいハーモニーが生まれます。



9月9日に1回目の全体音楽があり、授業を参観しました。3学年が合同での音楽の授業は初めてでしたが、すばらしい合唱を全員で作り上げようとする雰囲気がありました。これまでの経験から、校内で合唱のコンクールを実施する学校では、ほかのクラスとの勝ち負けになる部分があり、生徒それぞれの思いがぶつかり合うこともありましたので、それとは違う、純粋にみんなで良いものを作り上げようという雰囲気が、新しい発見とともに感動でした。

今後、練習を重ねると、もっともっと美しいハーモニーになっていくと思います。それを作り出せる自分たちにしっかりと自信を持ってもらっていいと思います。

つづいて太鼓です。今年は、7月に毎年お世話になっている美杉連山のろし太鼓のみなさんに、実演していただくところから始まりました。初めてたたく1年生も、これまでたたいてきた2、3年生も太鼓演奏がどのようなものかイメージできたかと思います。



さて、2学期が始まり、まだまだ残暑が厳しい中、各学年に分かれた練習が始まりました。通称「太鼓部屋」には、エアコンがありません。扇風機のみです。そのような中、1限目が2年生、2限目が1年生、3限目が3年生という感じで、週1回木曜日に指導いただいています。

練習の様子については、生徒のみなさんは1限ですが、指導者の方は、3限連続で教えていただいています。本当に、汗だくで、真剣に、時には厳しく、時には楽しく、参観する度にその熱意が感じられます。一方、生徒のみなさんの真剣なまなざし、態度にも感嘆しています。日頃あまり見ないような、すごく真剣で、集中して、なんとか上手になろうとしている気持ちが伝わってきます。上手にたたくことは大変かと思いますが、本当に集中し、へとへとになるような経験をすることに、大きな意味合いがあると感じます。

自分自身で「〇〇ができるようになった」や、「〇〇が上達した」と実感することは大人になっても楽しいものです。もちろん、すべてがうまくいくわけではありませんが、挑戦しないと実感もできないと思うので、まずは何事も挑戦してみませんか？

【 雑 感 】

今回もテレビからです。釣り番組です。アユをルアーで釣る内容でしたが、見てみると、どこかで見た風景が。説明を聞いていると、三重県津市の雲出川・・・竹原地区の雲出川でした。4月以来、美杉地域は、様々な魅力にあふれていると感じてきましたが、改めて、美杉地域のコンテンツの豊富さを実感しました。